

県立高看だより

第44号 (令和4年7月)

【巻頭言】

猛暑の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。
この4月に高等看護学院長として着任いたしました朝倉真由美と申します。
歴代の学院長の『社会貢献できる看護師の養成』の熱き思いを引継ぎ、さらによりよい学院
となりますよう全力を尽くして教育活動に取り組んでまいります。
何とぞよろしくお願ひいたします。

新入生の皆様、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。
4月7日に入学式を挙行し、70名の新入生を迎え令和4年度がスタートいたしました。
ここ2年は、新型コロナウイルス感染症対策のため『新しい生活様式』を取り入れ、入学式
では人数を制限させていただくなど、多くの行事が姿を変えております。
依然として新型コロナウイルス感染症は収束することなく、不安な生活が続いておりますが、
安心して学院生活を送っていただくために、様々な感染予防対策を実践しております。
引き続き、当学院の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。
さて、令和4年2月13日に実施された『第111回看護師国家試験』の結果は、この3月
に卒業した学生66名が見事100%合格を果たしました。
コロナ禍での2か月間の休校や臨地実習の縮小など、多くの苦難を乗り越えながらの合格は、
強い信念、努力の成果だと思います。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。
今年度も全職員がワンチームとなり、学生並びに保護者の皆様と連携を図りながら教育活動
に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力くださいますようよろしくお願ひいたします。

学院長 朝倉 真由美